

専門学校の特徴を生かした教育実践1 実践力を養う講義の工夫

1. PBL、ディベートなどを取り入れた主体的学習への支援
2. リスク感性を養う安全教育(別表2)
 - 1) 1年次からの安全教育の体系化
 - 2) インシデント・アクシデントの防止と対応
 - 3) 実習中の安全カンファレンスの実施
 - 4) 診療の補助技術における安全授業
(複数受け持ち・多重課題の校内実習)
3. 当事者授業(精神看護学・老年看護学)
4. 学生の反復練習を支える教材の整備
5. SPを取り入れた成人急性期の術後の一連の看護技術
(写真2別掲)
6. 綿密な打ち合わせと客観的な評価をめざす実技テスト
(写真3別掲)
7. 積極的な学会、研修会で発表・報告への支援

11

専門学校の特徴を生かした教育実践2 実践力を育む実習指導

1. 実習は知識と実践の統合の授業
看護観・実践知が養われ、看護の喜びも体験する。
都立の専任教員はこの授業を大切にし、常に実習指導を担当している
2. 実践力を育む実習指導は教育を受けた指導者が必要
 - ①専任教員:臨床経験5年以上+看護教員養成研修
 - ②臨床指導者:実習指導者研修
3. 臨床と学生の変化を踏まえた実習指導・専任教員と臨床指導者の連携
(別表3)(写真4)
 - ①エビデンスに基づいた看護実践への支援
 - ②身体侵襲を伴う技術経験の拡大と危機管理
(経験拡大技術項目の決定と事故発生時の体制フローシート)
 - ③新カリキュラムに先駆けた総合実習(複数受け持ち・夜間実習)

12